

子ども・子育て支援事業計画(地域子ども・子育て支援事業)の実施状況

令和2年3月31日現在

(1)利用者支援事業

| | | | |
|------------|----------|-----|-----|
| 本市の 事業名 | 保育専門相談事業 | 所管課 | 保育課 |
|------------|----------|-----|-----|

単位: か所

<参考>

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|-----------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 量の 見込み | 市全域 (合計) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 確保 提供量 | 市全域 (合計) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | 緑区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 中央区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 南区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 実績 | 配置か所数 (市全域合計) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | 確保提供量 (市全域合計) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 予算現額(千円) | | 29,237 | 27,271 | 25,250 | 32,360 | 41,797 | 29,698 |
| 決算額(千円) | | 22,761 | 25,474 | 20,868 | 30,077 | 38,984 | 19,541 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

各区の子育て支援センターに保育専門相談員を配置。令和元年度の窓口・電話の相談件数は44,545件と、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、平成30年度の50,462件より減少した。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

利用者の状況をすくすく保育アテンダントがきめ細かく伺うことにより、適切な保育サービスの利用や待機児童解消につながっているため、今後も配置を継続していく。

【今後の取組の課題・方向性等】

女性の就労増加や保育所定員の増加による利用への期待感の高まりなど、近年の社会経済情勢を踏まえると、保育サービスの利用希望者は、当分の間、増加傾向となることが見込まれることから、増加する相談に適切に対応する必要がある。

(2)地域子育て支援拠点事業

| | | | |
|--------|-------------|-----|----------------------|
| 本市の事業名 | 地域子育て支援拠点事業 | 所管課 | こども・若者支援課、保育課、こども家庭課 |
|--------|-------------|-----|----------------------|

単位:延べ人数/年

<参考>

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|----------|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 量の見込み | 市全域 | 77,467 | 101,931 | 126,395 | 101,100 | 131,100 | |
| 確保提供量 | 市全域 | 60,000 | 89,175 | 118,350 | 101,100 | 131,100 | |
| | - | 17,467 | 12,756 | 8,045 | 0 | 0 | |
| | 実施箇所 A | 16か所 | 20か所 | 26か所 | 22か所 | 27か所 | |
| 実績 | 利用延べ人数(市全域合計) | 52,381 | 53,781 | 68,520 | 89,824 | 80,631 | 53,514 |
| | 確保提供量(市全域合計) | 52,381 | 53,781 | 68,520 | 89,824 | 80,631 | 53,514 |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 実施箇所 B | 14か所 | 14か所 | 17か所 | 22か所 | 25か所 | 14か所 |
| | B-A | 2か所 | 6か所 | 9か所 | 0か所 | 2か所 | |
| 予算現額(千円) | | 108,355 | 108,018 | 140,305 | 122,272 | 144,750 | 105,587 |
| 決算額(千円) | | 107,837 | 107,386 | 136,596 | 122,060 | 139,276 | 103,832 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

こどもセンターで実施している連携型については、実施施設を8施設から11施設に増設し、利用延べ人数は、40,452人であった。(前年比2,853人増)
 保育所の子育て広場(経過措置型)については、公立保育所10園で実施し、利用延べ人数は16,188人であった。(新型コロナウイルス感染症による事業の中止もあり、前年比4,922人減少。)
 地域の子育て広場(一般型・4か所)については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日以降休止した。利用延べ人数は23,991人であり、前年比7,124人減少となった。
 また、伊勢丹相模原店が9月末日で閉店したことに伴い、「子育て広場 たんと」は、相模大野中央公園パークハウス内に移転した。

実績値の評価

B

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

連携型については、年1回実施団体との連絡会議を開催し、抱えている課題の情報共有を図り、質の向上に取り組んでいる。
 保育所においては、地域子育て支援に関する外部・内部研修の受講、情報交換、意見交換等を行う月1回の担当者会議の開催等により、担当職員の資質向上を図ることで、利用者に対し、きめ細やかなフォローが行われている。また、利用しやすい環境や機会を提供するため、各園で実施している事業において利用者アンケートを実施し、その結果を踏まえ、開催場所・日時、事業内容(講座内容)の見直し等を行っている。令和元年度については、利用者数が減少したが、これらの取組が、利用者数の増加傾向につながっていると評価できる。
 一般型については、伊勢丹相模原店の閉店に伴い、同店内に設置していた「子育て広場 たんと」が相模大野中央公園パークハウス内に移転した際に、利用者アンケートを実施し、可能な限り利用者の意見を踏まえて設備等を整え開所した。

【今後の取組の課題・方向性等】

連携型については、子育て広場を実施していないこどもセンターでの開催を検討するとともに、地域子育て支援拠点事業への移行を推進していく。
 地域の子育て広場(一般型・4か所)については、令和2年度において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、6月中旬まで休止とし、再開後当面の間は、予約制により利用者の人数を制限し、広場が過密にならないようにするなど、感染防止対策を行った上で事業を実施した。
 感染症予防対策が求められる中、いずれの事業形態においても、今後どのように事業を継続していくか、実施方法や内容について改めて検討していく必要がある。

(3) 妊婦健康診査

| | | | |
|------------|--------|-----|--------|
| 本市の 事業名 | 妊婦健康診査 | 所管課 | こども家庭課 |
|------------|--------|-----|--------|

単位: 延べ回数/年

< 参考 >

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|-----------|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 量の 見込み | 市全域 | 77,224 | 76,216 | 75,208 | 83,552 | 82,160 | |
| 確保 提供量 | 市全域 | 77,224 | 76,216 | 75,208 | 83,552 | 82,160 | |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 実績 | 対象延べ回数 (市全域合計) | 67,842 | 65,908 | 66,166 | 62,182 | 60,920 | 69,421 |
| | 確保提供量 (市全域合計) | 67,842 | 65,908 | 66,166 | 62,182 | 60,920 | 69,421 |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 予算現額(千円) | | 359,955 | 391,474 | 393,546 | 387,631 | 380,178 | 333,658 |
| 決算額(千円) | | 346,378 | 387,200 | 389,415 | 364,940 | 358,926 | 331,623 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

妊娠届出数が減少しているため、実績値も前年度と比べ下回っているが、必要な方に対する助成は十分に実施できている。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

平成28年1月に最大助成回数を14回から16回に、助成限度額を64,000円から90,000円に拡充を行った。令和元年度も、妊婦の経済的負担を軽減し、妊婦健康診査の受診勧奨を行うことにより、安心して妊娠期を過ごせる環境を整えることができた。

【今後の取組の課題・方向性等】

今後も妊婦健康診査に係る経費の一部助成を行うとともに、安心して妊娠・出産期を迎えられるよう、母子健康手帳交付時の保健師による面接を充実し、妊娠に不安を抱える妊婦に対する早期支援を行っていく。また、母子健康手帳別冊やきずなメール、電子母子健康手帳アプリ「さがプリコ」により妊娠中の情報提供を行うなど、妊婦健康診査の定期受診を促していくことで、引き続き、妊婦と胎児の健康管理の充実に努める。

(4) 乳児家庭全戸訪問事業

| | | | |
|--------|-------------|-----|--------------------|
| 本市の事業名 | こんにちは赤ちゃん事業 | 所管課 | こども家庭課、各区子育て支援センター |
|--------|-------------|-----|--------------------|

単位:人

<参考>

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|----------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 量の見込み | 市全域 | 5,516 | 5,444 | 5,372 | 5,222 | 5,135 | |
| 確保提供量 | 市全域 | 5,516 | 5,444 | 5,372 | 5,222 | 5,135 | |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 訪問率 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | |
| 実績 | 対象人数 (市全域合計) | 5,507 | 5,240 | 5,189 | 4,901 | 4,743 | 5,702 |
| | 確保提供量 (市全域合計) | 5,244 | 5,175 | 4,851 | 4,758 | 4,396 | 5,277 |
| | - | 263 | 65 | 338 | 143 | 347 | 425 |
| | 訪問率 | 95.2% | 98.8% | 93.5% | 97.1% | 92.7% | 92.5% |
| 予算現額(千円) | | 21,736 | 21,683 | 19,546 | 21,435 | 21,077 | 21,611 |
| 決算額(千円) | | 21,535 | 21,402 | 19,363 | 20,710 | 20,212 | 20,981 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

訪問対象人数は徐々に減少しているが、訪問実施率は90%以上と高めで安定している。

訪問できなかった理由としては、長期里帰り出産や海外滞在、新型コロナウイルス感染症の影響などがあるが、必要時には電話支援を行ったり、長期里帰りの場合は積極的に他市へ訪問依頼をするなどの対応をとった。訪問できなかった場合には4か月児健診で状況を把握している。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

令和2年1月の相模原市子ども・子育て支援に関するアンケート実施結果によると、訪問に「満足」「やや満足」と答えた方は、87.1%である。また、訪問後「心配が解消された」「やや解消された」と答えた方は84.9%である。母子訪問相談員には保健師や助産師等の専門職を起用し、出産後の身体の変化や新生児の発育発達に熟知した職員の細やかな相談対応が育児不安軽減につながっている。今後も年1回の研修会及び情報交換会の実施を継続し、質的向上に取り組む。

【今後の取組の課題・方向性等】

出生後の悩みの多い時期に早期に訪問できるよう努めるとともに、満足度や心配が解消した割合を上げられるよう、傾聴する姿勢や親の考えを尊重する気持ちを持ちながら従事するなど、研修等を通して母子訪問相談員の資質の向上を図っていく。また、里帰りにより訪問できない方に対しては、里帰り先の他市との連携を図り、里帰り中であっても他市での訪問を受けられることについて、積極的に市民に周知する。

(5) 養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

養育支援訪問事業

| | | | |
|--------|------------|-----|-------------|
| 本市の事業名 | 養育支援家庭訪問事業 | 所管課 | 各区子育て支援センター |
|--------|------------|-----|-------------|

単位：延べ回数/年

< 参考 >

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|----------|-------------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 量の見込み | 市全域 | 256 | 266 | 277 | 288 | 300 | |
| 確保提供量 | 市全域 | 256 | 266 | 277 | 288 | 300 | |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 実績 | 対象延べ回数 (市全域合計) | 326 | 350 | 260 | 315 | 279 | 298 |
| | 確保提供量 (市全域合計) | 326 | 350 | 260 | 315 | 279 | 298 |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 予算現額(千円) | | 3,757 | 3,936 | 3,565 | 3,511 | 3,507 | 3,515 |
| 決算額(千円) | | 2,960 | 3,252 | 3,227 | 3,203 | 3,160 | 2,857 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

育児支援家庭訪問事業は、延べ回数279回(内訳：育児指導240回、育児・家事援助39回)であった。

昨年度と比較すると、実績数は減少しているが、継続的な支援を要する家庭が増えている。平成29年度から付加された子育て世代包括支援センター機能により、母子保健班からの通告数が増えている状況にあり、育児手技等を含めた育児指導は、今後も需要が見込まれる。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

子育てに対する不安やストレス、孤立感等を把握するよう努めたり、適宜必要な家庭にスムーズに支援を導入出来るよう、定期的にあセスメント会議を行い取り組んでいる。

【今後の取組の課題・方向性等】

家事援助については、近年、減少傾向にあるが、ケースの状況に合わせ必要に応じて導入に向け取り組んでいく。

(5) 養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

| | | | |
|------------|---------------------|-----|------------------------|
| 本市の 事業名 | 要保護児童対策地域協議会 の運営 | 所管課 | こども家庭課、 各区子育て支援センター |
|------------|---------------------|-----|------------------------|

< 参考 >

| 項目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 予算現額(千円) | 3,702 | 4,302 | 3,829 | 3,731 | 3,838 | 3,290 |
| 決算額(千円) | 3,441 | 2,687 | 2,670 | 2,657 | 3,663 | 2,554 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

要保護児童対策地域協議会における代表者会議、実務者会議、ケース会議を開催し、要保護児童、要支援児童、特定妊婦に対し、適切な支援を実施した。
代表者会議:1回 実務者会議:9回 ケース会議:576回

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

要保護児童等に対し、適切な支援を図るため、相談機関や関係機関を対象とした研修を実施した。
また576回のケース会議を開催するなど、関係機関の間で必要なケース管理ができたと評価している。

【今後の取組の課題・方向性等】

多様で複雑な課題を抱える要保護児童等の家庭に対し、引き続き、要保護児童対策地域協議会の枠組みを活用し、相談機関と関係機関がそれぞれの役割分担と連携を図りながら適切な支援を実施できるよう、調整機関が総合調整、後方支援、人材育成等を実施する。

(6)子育て短期支援事業

| | | | |
|------------|-----------|-----|--------|
| 本市の 事業名 | ショートステイ事業 | 所管課 | こども家庭課 |
|------------|-----------|-----|--------|

単位:延べ人数/年

<参考>

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|-----------|-------------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 量の 見込み | 市全域 | 380 | 460 | 540 | 620 | 700 | |
| 確保 提供量 | 市全域 | 1,800 | 1,800 | 1,800 | 1,800 | 1,800 | |
| | - | 1,420 | 1,340 | 1,260 | 1,180 | 1,100 | |
| 実績 | 対象延べ人数 (市全域合計) | 391 | 375 | 358 | 392 | 438 | 317 |
| | 確保提供量 (市全域合計) | 1,800 | 1,800 | 1,800 | 1,800 | 1,800 | 1,800 |
| | - | 1,409 | 1,425 | 1,442 | 1,408 | 1,362 | 1,483 |
| 予算現額(千円) | | 7,641 | 2,470 | 2,712 | 2,712 | 2,960 | 7,685 |
| 決算額(千円) | | 7,351 | 2,158 | 1,880 | 2,385 | 2,574 | 7,107 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

18歳までの児童を対象に、市内乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設の4施設で実施し、利用を希望する世帯へ事業を提供することができた。

<利用実績>

乳児院 延べ153人 児童養護施設 延べ191人 母子生活支援施設 延べ94人

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

実施施設と各区の子育て支援センターとの連絡会を開催し、各区の事例における課題の情報共有を図り、円滑な事業実施に取り組んでいる。

【今後の取組の課題・方向性等】

利用を希望する子育て家庭に事業を提供するため、市内4か所の実施施設を維持するとともに、事業の質の向上を図るため、引き続き、実施施設と各区の子育て支援センターとの連絡会にて情報共有等を行い、児童や保護者の状況に応じた支援を行っていく。

(7)子育て援助活動支援事業

| | | | |
|------------|-------------------|-----|--------|
| 本市の 事業名 | ファミリー・サポート・センター事業 | 所管課 | こども家庭課 |
|------------|-------------------|-----|--------|

単位:延べ人数/年

<参考>

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|-----------|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 量の 見込み | 市全域 | 9,183 | 9,945 | 10,707 | 11,469 | 12,230 | |
| 確保 提供量 | 市全域 | 9,183 | 9,945 | 10,707 | 11,469 | 12,230 | |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 実績 | 対象延べ人数 (市全域合計) | 9,657 | 9,324 | 9,270 | 9,991 | 10,613 | 8,662 |
| | 確保提供量 (市全域合計) | 9,657 | 9,324 | 9,270 | 9,991 | 10,613 | 8,662 |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 予算現額(千円) | | 12,131 | 13,131 | 14,297 | 20,096 | 20,500 | 11,928 |
| 決算額(千円) | | 11,457 | 12,885 | 14,285 | 18,138 | 20,482 | 11,928 |

〔令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)〕

・会員数2,677人(利用会員:1,986人、援助会員:631人、両方会員:60人)(前年度比:462人増)

・活動実績:10,613件(前年度比:622件増)

平成30年度から実施しているひとり親家庭等への助成や、令和元年10月から実施した幼児教育・保育の無償化等により、会員数及び活動実績が共に増加した。

実績値の評価

A

〔利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価〕

・各会員の代表者や公立・民間保育所園長の代表、幼稚園長の代表、こどもセンター館長の代表で構成する「市ファミリー・サポート・センター運営委員会」を開催し、事業計画や事業結果、利用上の課題など、事業の円滑な運営や事業の拡充についての意見交換を行うなど、質的向上に取り組んでいる。

・令和元年10月より、幼児教育・保育の無償化が始まり、ファミリー・サポート・センター事業についても一部のサポートが無償化の対象となったため、入会説明会で周知を行うとともに、既に対象のサポートを受けている利用者に対し、直接案内を行うなど、利用促進を図った。

〔今後の取組の課題・方向性等〕

今後も事業の周知に努め、会員数の増加を図る。特に、利用会員と比べて援助会員数が伸び悩んでいるため、子育て支援に意欲のある人が集まる場で周知を行うなど、他の事業とも連携しながら、援助会員の登録数を増やしていく。

(8)一時預かり事業

【幼稚園在園児対象の預かり保育】

| | | | |
|------------|-------|-----|-----|
| 本市の 事業名 | 預かり保育 | 所管課 | 保育課 |
|------------|-------|-----|-----|

単位:延べ人数/年

<参考>

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|-----------|-------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|----------------------|---------|
| 量の 見込み | 市全域 (合計) | 210,995 | 216,526 | 221,322 | 225,582 | 229,437 | |
| 確保 提供量 | 市全域 (合計) | 210,995 | 216,526 | 221,322 | 225,582 | 229,437 | |
| | 緑区 | 43,989 | 44,941 | 45,733 | 46,412 | 47,007 | |
| | 中央区 | 82,572 | 85,257 | 87,659 | 89,853 | 91,889 | |
| | 南区 | 84,434 | 86,328 | 87,930 | 89,317 | 90,541 | |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 実績 | 対象延べ人数 (市全域合計) | 193,045 (44,614) | 226,179 (79,413) | 222,463 (71,440) | 236,191 (90,406) | 233,815 (104,673) | 203,112 |
| | 確保提供量 (市全域合計) | 193,045 (116,883) | 226,179 (138,753) | 222,463 (172,287) | 236,191 (90,406) | 233,815 (104,673) | 203,112 |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 予算現額(千円) | | 18,819 | 25,609 | 30,891 | 47,127 | 57,179 | |
| 決算額(千円) | | 18,316 | 25,609 | 30,891 | 47,127 | 57,179 | |

26年度実績については、私学助成制度の預かり保育実績からの推計値
実績の括弧内の数値は幼稚園型一時預かりの数値

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

預かり保育事業は、幼児教育・保育の無償化による対象児童の減少(教育・保育認定1号から2号への変更)により、実績は平成30年度から微減となったが、見込みを大きく上回る量を確保提供することができた。

なお、幼稚園型一時預かりを実施する子ども・子育て支援新制度への移行園は前年度から7園増加した。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

預かり保育は各幼稚園又は認定こども園が各園の方針により、それぞれ独自に内容を決定するものであるため、市としては、実施体制を維持できるよう、預かり保育に係る人件費及び保育経費に対する補助を今後も継続していく。

【今後の取組の課題・方向性等】

多様化する保育ニーズに対応するため、利用時間や実施日の拡大等、各幼稚園又は認定こども園が預かり保育を充実しやすいよう、保育体制充実加算といった補助メニューの実施を検討していく。

(8)一時預かり事業

【預かり保育以外】

| | | | |
|--------|-----------------------------|-----|------------|
| 本市の事業名 | 一時保育事業 ファミリー・サポート・センター事業 | 所管課 | 保育課、こども家庭課 |
|--------|-----------------------------|-----|------------|

単位:延べ人数/年

<参考>

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|----------|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 量の見込み | 市全域 | 35,343 | 40,391 | 45,439 | 31,010 | 31,467 | |
| 確保提供量 | 市全域 | 35,343 | 40,391 | 45,439 | 31,010 | 31,467 | |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 実績 | 対象延べ人数 (市全域合計) | 31,870 | 30,238 | 30,105 | 28,337 | 27,032 | 33,439 |
| | 確保提供量 (市全域合計) | 31,870 | 30,238 | 30,105 | 28,337 | 27,032 | 33,439 |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 予算現額(千円) | | 52,623 | 58,976 | 53,297 | 65,096 | 60,000 | 52,518 |
| 決算額(千円) | | 35,845 | 47,613 | 50,979 | 50,994 | 50,418 | 38,459 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

一時保育実施園は、前年度から5園増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数が想定よりも減少する結果となった。

ファミリー・サポート・センター事業については、前年度から未就学児童の利用登録が429人、活動実績が1129件増加した。平成30年度から実施しているひとり親家庭等への助成や、令和元年10月から一部サポートが幼児教育・保育の無償化の対象となったことにより、増加したと考えられる。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

一時保育の利用者数は減少傾向ではあるが、突発的な理由や就労等で保育が必要になる場合において、必要不可欠な事業である。また、一時保育は、各保育所又は認定こども園が各園の方針により、それぞれ独自に内容を決定するものであるため、市としては、実施体制を維持できるよう、一時保育に係る人件費及び保育経費に対する補助を今後も継続していく。

ファミリー・サポート・センター事業については、令和元年10月から、一部サポートが幼児教育・保育の無償化の対象となったため、入会説明会で周知を行うとともに、既に対象のサポートを受けている利用者に対し、直接案内を行うなど、利用促進を図った。

【今後の取組の課題・方向性等】

一時保育については、各保育所又は認定こども園が実施しやすいよう、補助を継続していく。

ファミリー・サポート・センター事業については、今後も事業の周知に努め、会員数の増加を図る。特に、利用会員と比べて援助会員数が伸び悩んでいるため、子育て支援に意欲のある人が集まる場で周知を行うなど、他の事業とも連携しながら、援助会員の登録数を増やしていく。

(9) 延長保育事業

| | | | |
|--------|--------|-----|-----|
| 本市の事業名 | 延長保育事業 | 所管課 | 保育課 |
|--------|--------|-----|-----|

単位: 延べ人数/月

<参考>

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|-----------|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 量の 見込み | 市全域 (合計) | 11,244 | 11,763 | 12,220 | 14,460 | 14,460 | |
| 確保 提供量 | 市全域 (合計) | 11,244 | 11,763 | 12,220 | 14,460 | 14,460 | |
| | 緑区 | 2,400 | 2,463 | 2,525 | 2,980 | 2,980 | |
| | 中央区 | 5,392 | 5,778 | 6,104 | 7,230 | 7,230 | |
| | 南区 | 3,452 | 3,522 | 3,591 | 4,250 | 4,250 | |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 実績 | 対象延べ人数 (市全域合計) | 14,477 | 14,429 | 14,078 | 14,420 | 13,602 | 13,798 |
| | 確保提供量 (市全域合計) | 14,477 | 14,429 | 14,078 | 14,420 | 13,602 | 13,798 |
| | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 予算現額(千円) | | 199,700 | 229,263 | 240,312 | 241,176 | 230,748 | 158,784 |
| 決算額(千円) | | 185,020 | 203,038 | 204,375 | 212,432 | 217,619 | 158,783 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

事業者の協力を得て、市内全ての保育所、幼保連携型認定こども園及び小規模保育事業所において実施した。保育所の新規開設により事業の実施箇所は増加したものの、令和元年度末には新型コロナウイルス感染症拡大のため、利用実績は前年度と比較し、減少した。なお、量の見込みより実績値が下回っているが、必要な量は確保できている。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

保育士等に対して実施している各種研修等により保育の質の確保・向上を図ることにより、併せて延長保育の質的向上を図っており、提供する保育の内容には概ね満足いただいている。

【今後の取組の課題・方向性等】

保護者の就労形態の多様化、就労時間の長時間など、保育所等を利用する保護者の延長保育ニーズに対応するため、引き続き新規開設園を中心として実施施設の拡充を図る。

(10) 病児保育事業

| | | | |
|--------|------------|-----|-----|
| 本市の事業名 | 病児・病後児保育事業 | 所管課 | 保育課 |
|--------|------------|-----|-----|

単位:延べ人数/年

<参考>

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|----------|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 量の見込み | 市全域 | 2,662 | 3,524 | 4,386 | 1,825 | 2,008 | |
| 確保提供量 | 市全域 | 5,408 | 6,968 | 6,968 | 5,408 | 5,408 | |
| | - | 2,746 | 3,444 | 2,582 | 3,583 | 3,400 | |
| 実績 | 対象延べ人数 (市全域合計) | 1,935 | 1,732 | 1,851 | 1,473 | 992 | 1,809 |
| | 確保提供量 (市全域合計) | 5,408 | 5,408 | 5,408 | 4,880 | 4,752 | 5,408 |
| | - | 3,473 | 3,676 | 3,557 | 3,407 | 3,760 | 3,599 |
| 予算現額(千円) | | 43,627 | 45,883 | 45,883 | 50,547 | 44,509 | 41,796 |
| 決算額(千円) | | 41,781 | 43,087 | 43,074 | 42,907 | 41,276 | 39,915 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

前年度に引き続き市内計3施設で実施した。年間の利用者数は対前年比で481人、67.3%の減となったが、対象延べ人数に対して提供量の確保はされている。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

利用者のいない時間帯を活用した施設による近隣保育所等への支援等、病児・病後児保育ならではの地域サービスを提供する等、引き続き事業者の協力を得ながら質の高い保育の提供に努めていく。

【今後の取組の課題・方向性等】

確保提供量に対する延べ利用者人数が減少していることから、市民の利便性の向上のため、他市との広域連携を行うとともに、事業周知の充実等により、稼働率の上昇を目指す。

(11) 放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)

| | | | |
|--------|------------------------|-----|-----------|
| 本市の事業名 | 放課後児童健全育成事業 (児童クラブ) | 所管課 | こども・若者支援課 |
|--------|------------------------|-----|-----------|

単位:人

<参考>

| 項目 | 区域 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|----------|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 量の見込み | 市全域 | 6,982 | 7,210 | 7,431 | 7,615 | 7,817 | |
| 確保提供量 | 市全域 | 5,395 | 6,005 | 6,615 | 7,225 | 7,979 | |
| | - | 1,587 | 1,205 | 816 | 390 | 162 | |
| 実績 | 申請者数 (市全域合計) | 5,489 | 5,917 | 6,220 | 6,563 | 6,881 | 4,984 |
| | 入会者数 (市全域合計) | 5,210 | 5,681 | 6,100 | 6,485 | 6,813 | 4,785 |
| | - | 279 | 236 | 120 | 78 | 68 | 199 |
| 予算現額(千円) | | 1,035,216 | 1,286,996 | 1,305,705 | 1,413,000 | 1,535,879 | 905,323 |
| 決算額(千円) | | 931,162 | 1,031,435 | 1,183,287 | 1,256,181 | 1,344,979 | 847,934 |

「量の見込み」については高学年を含んでいるが、平成27・28年度の公立児童クラブについては3年生までの受入れ(支援が必要な児童の場合は6年生まで)。

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】
 増加傾向が続いている入会申請者数に対応するため、定員の増加を行っており、令和元年度は7,434人の定員を確保することができた。計画に対して若干の遅れはあるものの概ね順調に実施できている。また、平成30年4月から引き続き、市内3箇所(桂北小、光が丘小、もえぎ台小)で小学4年生の児童受入れをモデル実施した。
 公立児童クラブ:203人増 [H30]5,461人 [R1]5,664人
 民間児童クラブ:216人増 [H30]1,554人 [R1]1,770人

実績値の評価
B

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】
 ・職員体制の充実
 利用者からの待機児童対策を望む声から、ソフト面で職員を安定的・継続的に確保するため、児童クラブ労働者派遣職員を増員することで、職員体制の充実を図ることができた。
 ・職員研修の実施
 研修内容について実務に即した内容を充実するなど質の向上に向け研修を実施した。また、支援が必要な児童の対応など専門的な知識を得られる研修を実施することで、児童預かりの安全性の向上を図ることができた。

【今後の取組の課題・方向性等】
 公立児童クラブは、需要が高まっている3年生までの定員拡大を最優先に実施していくとともに、モデル実施や待機児童数の状況を踏まえながら、4年生以上の年齢拡大へ向けた取組を進める。
 民間児童クラブについては、新規参入や受入児童数拡大の促進に向けて、補助金の充実などの支援に取り組むとともに、意見や課題を把握するための情報交換会等を行うなど、更なる連携を進めていく。
 また、職員配置体制や放課後児童支援員等への研修の充実等による環境整備の推進を図ることにより、一層の質の向上を図る。

(12)実費徴収に係る補足給付を行う事業

| | | | |
|------------|------------|-----|-----|
| 本市の 事業名 | 実費徴収補足給付事業 | 所管課 | 保育課 |
|------------|------------|-----|-----|

<参考>

| 項目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 予算現額(千円) | 0 | 4,500 | 1,200 | 1,100 | 18,310 | 0 |
| 決算額(千円) | 0 | 1,061 | 1,172 | 1,073 | 4,090 | 0 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

令和元年10月から幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、新たに私学助成幼稚園の副食費が給付対象となったため、予算の増額補正を行い、新たに給付を行った。
(補正前:1,300千円、補正後18,310千円)

実績値の評価

A

【今後の取組の課題・方向性等】

副食費免除対象者が想定より少なかったこと及び私学助成幼稚園に通園する児童については、副食費が上限額に達しないことがあり、執行残が発生した。今後も円滑な事業実施を行い、給付を継続していく。

(13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

| | | | |
|------------|---------------|-----|-----|
| 本市の 事業名 | 新規参入施設等巡回支援事業 | 所管課 | 保育課 |
|------------|---------------|-----|-----|

<参考>

| 項目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 平成26年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 予算現額(千円) | 7,860 | 15,858 | 16,766 | 11,382 | 11,655 | 0 |
| 決算額(千円) | 7,860 | 15,858 | 16,766 | 11,382 | 11,655 | 0 |

【令和元年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】
巡回支援員として保育士3名(うち2名は園長経験者)を配置し、新規開設園を中心に、児童の年齢や発達に応じた保育の実施、衛生面や事故防止に配慮した環境づくりなど保育の質の確保に向けた指導・助言を実施した。
[令和元年度実績 巡回実施施設:39施設 延べ巡回回数:132回]

実績値の評価
A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】
巡回支援員が、保育現場で必要となる技術や知識の向上に資する研修を受講するなど、助言・指導の実施にあたり必要となるスキルアップを図るとともに、実地指導への同行により、設備や運営に関する基準や給付制度など運営面における制度への理解も深められる体制をとっている。巡回した施設からは、特に保育現場で生じる課題や問題に関し、「安心・安全な保育や事故防止に対する指導が的確」「保護者対応へのアドバイスが役に立つ」といった、好意的な意見をいただいている。

【今後の取組の課題・方向性等】
引き続き、巡回支援員の専門性の向上を図りつつ、運営面を含め、保育の質の確保・向上に向けた指導・助言を行っていく。なお、対象施設が年々増加しており、各施設の状況についての確かな判断が必要であることから、より効率的・効果的な支援を行っていく。